

用途及び要求諸元（現行システムと狭帯域システム）

① 動物検知通報システム

用途	対象	現行システム（帯域幅 16kHz）				狭帯域システム の要求諸元	備考
		測位方法	収集形態	出力	伝送速度		
季節行動圏・移動経路 の把握	小型水中生物 （魚等）	ビーコン	リアル	1mW 以下	2400bps 以下	現行と同じ	小型軽量化を図る必要があるため、位置センサー搭載は難しい
	中型水中生物 （魚、カメ等）	〃	〃	10mW 以下	〃	〃	〃
	小型動物 （うさぎ、鳥等）	〃	〃	10mW 以下	〃	〃	〃
	中型動物 （サル等） 大型動物 （シカ、クマ等）	①ビーコン	リアル	20mW 以下	〃	測位方法を ビーコン→GPS	サル用は、現在は本方式（①）が主流 電池消費を少なくするため、9600bps とし て送信時間を短縮する装置の利用もある。
		②GPS 等	ストック	1W 以下	9600bps 以上	現行と同じ	②を使用する場合でも、ストックデータの ダウンロード時に動物に接近する必要がある ため、①が併用されることが多い
接近警報	サル、クマ等	①ビーコン	リアル	20mW 以下	2400bps 以下	測位方法を ビーコン→GPS	集落等に置かれた受信ポイントでビーコン が受信された場合に警報（警報音、メール 等）を発する。現在は①が主流
		②GPS 等	リアル	1W 以下	2400bps 以下	現行と同じ	集落等に置かれたアクセスポイントで位置 情報を収集し警報を発する（双方向通信）
狩猟 i) 猟犬位置把握	猟犬	GPS 等	リアル	1 W 以下	2400bps 以下	〃	
ii) 猟犬音声	猟犬	—	—	1 W 以下	F3E	伝送速度 4800bps 以下	現行は F3E のアナログを用いている。
iii) 狩猟罾用発振器	罾	ビーコン	リアル	1 W 以下	2400bps 以下	測位方法を ビーコン→GPS	キャリアセンス有無の違いにより、出力 10mW 以下もある

② 登山者の位置検知システム

用途	対象	現行システム				狭帯域システム の要求諸元	備考
		測位方法	収集形態	出力	伝送速度		
登山者等の位置検知	人（登山者、遠足 児童、徘徊老人な ど）	—	—	—	—	測位方法：GPS 収集形態： リアル/ストック 出力：1W 伝送速度： 2400bps 以下	GPS 情報を 100 ポイント程度ストック

③ 猟師の位置検知システム

用途	対象	現行システム				狭帯域システム の要求諸元	備考
		測位方法	収集形態	出力	伝送速度		
狩猟 i) 猟師の位置把握	人（猟師）	GPS 等	リアル	1 W 以下	2400bps 以下	現行と同じ	
ii) 猟師間の連絡	人（猟師）	—	—	1 W 以下	4 値 FSK	伝送速度 4800bps 以下	猟師間の連絡はデジタル簡易無線など を利用している。